

# 令和2年度用「小学音楽」5年 年間指導計画作成資料（案）

令和2年6月版

## 取り扱いに当たっての留意事項

- 「学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動」では、学習内容や時数について考えられる案を示しています。学校や地域の実態に応じてご参照ください。
- 表中の「学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動」とは、「学校の授業以外の場で学習したことを基に、授業で各活動が展開されること」を前提としています。学校以外の場のみで学習が完結するというものではありませんので、授業における配慮をお願いします。
- ウェブを活用した場面があります。音声や動画を視聴できる環境にない家庭の児童への配慮をお願いします。
- 題材ごとの配当時数、学習活動などは、今後変更になる可能性があります。予めご了承ください。
- 各題材の評価規準、及び評価基準については、当社ホームページの「年間指導計画・評価計画（案）」をご参照ください。
- 当該学年で取り扱う内容や歌唱共通教材等については、指導順序を入れ替えてもなお実施が困難となった場合、次年度において取り上げたり、類似した題材と組み合わせたりするなどの配慮が必要となります。その際は上級学年に送った指導内容について、教員間で引継ぎを行うなど、適切な取り扱いとなるようにご留意ください。

音楽 教育出版株式会社 小学校5年 『小学音楽 音楽のおくりもの5』

以下の資料は、当社の教師用指導書ならびにホームページに提示している第5学年の年間指導計画作成資料に基づき、「学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動」と、「指導順序を変更することが考えられる教材・学習活動」について一覧にまとめたものです。

年間指導計画例はこちらをご参照ください。 [https://www.kyoiku-shuppan.co.jp/2020shou/ongaku/category04/download.html#download\\_00](https://www.kyoiku-shuppan.co.jp/2020shou/ongaku/category04/download.html#download_00)

注1) 表中の「学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動」に「書き留める」活動を示していますが、これについては、教科書 p.74 の〈「音楽のもと」まとめ〉を確かめたり、p.76 の〈音楽を表すいろいろな言葉〉を参考にしたりしながら、教科書の楽譜やメモ欄などの書き込み欄に記述・記入したり、ワークシートや児童が準備できるノートなどにまとめたりすることが考えられます。また、これらの学習を学校再開後に授業で行う場合は、適宜発言等に対応することも考えられます。

注2) 家庭学習で、歌唱やリコーダーなどについて個人で演奏する場合は、感染防止や学習環境に十分な配慮が必要なため、保護者等と確認してから実施するようにご注意ください。

注3) 表中の表現教材の「音源」は、教育出版株式会社のホームページにある『小学音楽 音楽のおくりもの』自宅学習用教材曲音源』に含まれる音源のことを指します。なお、後半の題材については現段階ではアップされていないものもあります。

<https://www.kyoiku-shuppan.co.jp/textbook/shou/ongaku/document/ducu2/docu206/5nen.html>

表中の〈まなびリンク〉は、教育出版株式会社のホームページにある関連資料のページを指します。教科書目次のQRコードからアクセスが可能です。

<https://www.kyoiku-shuppan.co.jp/m-link/ongaku/5.html>

自宅学習用教材曲音源



まなびリンク



科書 ページ	題材名・コーナー名 等	配当時数 ( )内は、学校の授業以外の学習分	学校の授業以外の場において行うことが 考えられる教材・学習活動 (共)=共通教材	指導順序を変更することが考えられる 教材・学習活動
表紙裏	舞台から未来へー	随時 (0.5)	野村萬斎さんからのメッセージを読む。	
p.4-5	【巻頭教材】 【歌唱】	随時 (0.5)	「夢色シンフォニー」を音源に合わせて歌い、曲想を感じ取る。 また、旋律の変化に気を付けて音源を聴いたり歌ったりして、曲の特徴や気付いたことを書き留める。	実際に声を出して行う歌唱活動又は歌唱に関わる全ての学習活動の指導順序を変更する。
p.6-7	スキルアップ 【歌唱】【器楽】	毎時 (1)	「花のおくりもの」を音源に合わせ、曲想を感じ取って歌う。 速度記号について知り、意味を確認する。 変声期について知る。 「クラップ フレンズ」では、強弱記号について知り、意味を確認して、楽譜通りの強弱で打ったり、強弱記号を入れ替え表現を変化させて打ったりする。	実際に声を出して行う歌唱活動又は歌唱に関わる全ての学習活動の指導順序を変更する。
p.8-11	にっぽんのうた みんなのうた 【歌唱】	2 (0.5)	「こいのぼり」(共)の歌詞を音読したり、詩や楽譜を見ながら音源を聴いたりして、歌詞と旋律の結びつきを感じ取る。 音源に合わせて歌詞で歌ったり、旋律のリズムを打ってみたりして、特徴的なリズムに気付く。 強弱記号を確認し、旋律の反復や変化、盛り上が	実際に声を出して行う歌唱活動又は歌唱に関わる全ての学習活動の指導順序を変更する。 身体の接触を伴う活動の指導順序を変更する。

			りを見つけて歌う。気付いたことを書き留める。	
p.12-17	<b>和音や低音のはたらき</b> <b>【歌唱】【器楽】</b>	4 (2)	<p>「茶色の小びん」の楽譜を見ながら、音源に合わせて主旋律を歌詞で歌ったり、階名唱したりする。</p> <p>サミングを確認し、リコーダーで主旋律を吹く。教科書 p.13 の&lt;くり返し記号と 1 番かっこ・2 番かっこ&gt;&lt;へ音記号&gt;について読んで理解する。</p> <p>「茶色の小びん」の低音パートを階名唱したり鍵盤ハーモニカなどで演奏したりして、4 小節ずつの繰り返しに気付く。</p> <p>教科書 p.14 の、「茶色の小びん」の和音を鍵盤ハーモニカで演奏してみる。</p> <p>ハ長調の音階やハ長調の主な和音について知る。教科書 p.15 掲載の和音について&lt;まなびリンク&gt;の映像を参考に、どのようなポーズが合うか考える。</p> <p>「こきょうの人々」の楽譜を見ながら、音源に合わせて主旋律を歌詞で歌ったり、階名唱したりする。また、和音や低音の音を確かめながら、鍵盤ハーモニカなどで演奏してみる。</p> <p>5 度の 7 の和音について知る。</p>	<p>実際に声を出して行う歌唱活動又は歌唱に関わる全ての学習活動の指導順序を変更する。</p> <p>リコーダーの演奏を伴う「茶色の小びん」の旋律奏や合奏の指導順序を変更する。</p>

p.18-23	<p>声のひびき合い 【鑑賞】【歌唱】</p>	6 (2)	<p>「◎いろいろな合唱」の各曲を公衆送信などの音源を利用し、合唱の響きを感じ取りながら聴く。形態ごとの合唱の響きについて、気付いたことを書き留める。</p> <p>「ハロー・シャイニング ブルー」の歌詞を音読したり、詩を見ながら音源を聴いたり、合わせて主旋律を歌ったりして、感じたことやイメージしたことを書き留める。</p> <p>また、曲の特徴について、楽譜を見たり音源を聴いたりして、気付いたことを書き留める。</p> <p>上下のパートを、それぞれ音源に合わせて歌ってみて、パートの役割やパート同士の関わり方について確かめる。</p> <p>&lt;まなびリンク&gt;の映像を利用して作詞者の思いを知り、表現について考えを深める。</p>	<p>実際に声を出して行う歌唱活動又は歌唱に関わる全ての学習活動の指導順序を変更する。</p>
p.24-25	<p>【めざせ 楽器名人】 かけ合いや重なりを生かして演そうしよう 【器楽】</p>	毎時 (1.5)	<p>「星笛」の楽譜を見ながら音源を聴いて曲想を感じ取る。</p> <p>それぞれのパートの運指を確認し、階名唱してから吹く。</p> <p>音源に合わせ、曲想に合った音色を考えながら吹く。</p> <p>8分の6拍子について知り、拍子の流れを感じ取って吹く。</p>	<p>リコーダーの演奏を伴う「星笛」の重奏や合奏の指導順序を変更する。</p>

			<p>スラーについて知り、&lt;まなびリンク&gt;の映像を参考に、フレーズの工夫について考えたり試したりする。</p> <p>パートの役割や、パート同士の関わり方について考える。</p>	
p.26-27	<p>音のスケッチ</p> <p>【音楽づくり】</p>	2 (0.5)	<p>&lt;和音に合わせてせんりつをつくろう&gt;では、「茶色の小びん」の4小節の和音を鍵盤ハーモニカなどで演奏しながら、合わせて心の中で旋律をつくってみる。</p>	
p.28-31	<p>オーケストラのみりよく</p> <p>【鑑賞】</p>	3 (1)	<p>「◎組曲『カレリア』から『行進曲風に』」を公衆送信などの音源を利用し、オーケストラの響きを感じ取りながら聴く。</p> <p>教科書 p.30 や&lt;まなびリンク&gt;の映像を参考に、旋律の進み方と、ア、イごとの楽器の響きについて、気付いたことを書き留める。</p> <p>教科書 p.28 や p.30 の写真、シート、&lt;まなびリンク&gt;の資料などをもとに、オーケストラの楽器等について知る。</p>	
p.32-33	<p>にっぽんのうた</p> <p>みんなのうた</p> <p>【歌唱】</p>	1 (0.5)	<p>「赤とんぼ」の歌詞を音読したり、詩を見ながら音源を聴いて歌ったりして、感じたことや想像した様子などを書き留める。</p> <p>強弱記号を確認し、言葉の響きに気を付けながら歌う。</p>	<p>実際に声を出して行う歌唱活動又は歌唱に関わる全ての学習活動の指導順序を変更する。</p>

			<p>教科書 p.33 のコラムを読み，作品や作詞者について知る。</p> <p>また，教科書 p.78 をもとに，作曲者山田耕筰の他の作品にふれる。</p>	
p.34-41	<p><b>音楽の旅</b></p> <p><b>【歌唱】【鑑賞】</b></p> <p><b>【音楽づくり】</b></p>	6 (3)	<p><b>「子もり歌」(共)</b> の音源を聴いたり，合わせて歌ったりして，曲想を感じ取る。</p> <p>フラットを付けた旋律の音源も聴き，曲想の違いを比べる。</p> <p>子守歌はどのような感じで歌うのがよいか考える。</p> <p><b>「◎会津磐梯山」「◎音戸の舟歌」</b> を公衆送信などの音源を利用し，拍の有無，声の出し方や節まわしの特徴を感じ取りながら聴く。</p> <p>教科書 p.35 の商売の声や相撲の呼び出しなどの図譜を参考に，身の回りにある声の表現を探して書き留める。また，真似て声で表現してみる。</p> <p>教科書 p.36 の<b>「日本の民ようをたずねて」</b>の紙面を見て，図書館等で調べるなどして，各地に人々の生活の中から生まれたいろいろな民謡があることを知る。</p> <p>公衆送信などの音源を利用し，拍感の有無や発声の特徴などを感じ取りながら数曲聴く。</p> <p>住んでいる地域に伝わる民謡があれば，思い出し</p>	<p>実際に声を出して行う歌唱活動又は歌唱に関わる全ての学習活動の指導順序を変更する。</p>

			<p>たり調べてみたりする。</p> <p><b>「こきりこ節」</b>の音源を聴き、合わせて歌ったりリズム打ちしたりして、曲想を感じ取る。</p> <p>教科書 p38 の写真や、公衆送信などの音源を利用し、「こきりこ節」について更に知ったり聴いたりする。</p> <p>また、&lt;まなびリンク&gt;の映像をもとに、こきりこの演奏を真似る。</p> <p><b>「谷茶前」</b>の音源を聴き、合わせて歌って曲想を感じ取る。</p> <p>付点のリズムの伴奏や、音階の響きの特徴に気付く。</p> <p>また、教科書 p.39 に示された6音をもとに、リズムに音をあてはめて旋律をつくってみる。</p> <p><b>「◎世界の声の音楽」「◎世界の楽器のひびき」</b>を公衆送信などの音源を利用し、それぞれの特徴を感じ取りながら聴き、気付いたことを書き留める。</p>	
--	--	--	--	--

p.42-45	<p><b>豊かな表現を求めて</b> 【器楽】【歌唱】</p>	4 (1.5)	<p>「<b>風とケーナのロマンス</b>」の楽譜を見ながら音源を聴き、合わせて歌詞で歌ったりリズムを打ったりして曲想を感じ取る。</p> <p>リコーダーの各パートの運指を確認し、音名（ドレミ）で歌ってから吹く。</p> <p>音源に合わせ、曲想に合った音色を考えながら、8分の6拍子の流れを感じ取って吹く。</p> <p>パートの役割や、パート同士の関わり方について考える。</p> <p>低音パートも、音名（ドレミ）で歌い、鍵盤ハーモニカなどで演奏してみる。</p> <p>「<b>冬げしき</b>」(共)の歌詞を音読したり、詩を見ながら音源を聴いたり、合わせて歌ったりして、感じたことや1番、2番、3番ごとに想像した様子を書き留める。</p> <p>旋律のリズムを手で打って、同じリズムの旋律と違うリズムの旋律に気付く。</p> <p>旋律のまとまりや3拍子の流れを感じながら歌う。</p>	<p>実際に声を出して行う歌唱活動又は歌唱に関わる全ての学習活動の指導順序を変更する。</p> <p>リコーダーの演奏を伴う「<b>風とケーナのロマンス</b>」の合奏の指導順序を変更する。</p>
p.46-47	<p><b>音のスケッチ</b> 【音楽づくり】</p>	2 (0.5)	<p>〈<b>いろいろな声で音楽をつくろう</b>〉では、「ゆき」の詩を音読し、いろいろな音高や強弱、発声で「しん」の言葉を表現してみる。</p>	<p>実際に声を出して行う音楽づくりの活動の指導順序を変更する。</p>

p.48-49	<b>にっぽんのうた みんなのうた</b> <b>【歌唱】</b>	2 (0.5)	<p>「スキーの歌」(共)の歌詞を音読したり、詩や楽譜を見ながら音源を聴いたりして、歌詞と旋律の結びつきを感じ取る。</p> <p>音源に合わせて歌詞で主旋律を歌ったり、合わせて旋律のリズムを打ってみたりして、特徴的なリズムに気付く。</p> <p>強弱記号を確認し、旋律の反復や変化、盛り上がりを見つけて歌う。気付いたことを書き留める。</p> <p>最終段の上声の音を確認し、歌ってみる。</p>	<p>実際に声を出して行う歌唱活動又は歌唱に関わる全ての学習活動の指導順序を変更する。</p>
p.50-51	<b>ききどころを見つけて</b> <b>【鑑賞】</b>	3 (1)	<p>「◎つるぎのまい」を公衆送信などの音源を利用し、教科書 p.51 を参考に、注目する音型や合いの手、旋律ごとに体を動かしながら聴く。</p> <p>体を動かすことにより、楽器の音色、旋律の変化や再現、速度の変化などに気付いて聴く。</p> <p>&lt;まなびリンク&gt;の映像を参考にしてもよい。</p> <p>気付いたことや、曲の良さなどを教科書 p.51 などに書き留める。</p>	<p>鑑賞領域の&lt;ききどころを見つけて&gt;の題材を先行して扱うことも考えられる。</p>

p.52-55	わたしたちの表現 【器楽】【歌唱】	3 (1.5)	<p>「ルパン三世のテーマ」(選択)の楽譜を見て、パートごとに音を追いながら音源を聴いたり、階名唱したりする。</p> <p>リコーダーは運指を確認して吹く。</p> <p>鍵盤ハーモニカや低音のパートを、鍵盤ハーモニカなどで吹く。</p> <p>「君をのせて」(選択)の歌詞を見ながら音源を聴き、合わせて上声部を歌って曲想を感じ取ったり、盛り上がる場所を見つけたりする。</p> <p>下声部も音源に合わせて歌い、パートの役割や関わり合いについて考える。</p>	<p>リコーダーや鍵盤ハーモニカなど吹奏楽器の演奏を伴う「ルパン三世のテーマ」の合奏の指導順序を変更する。</p> <p>実際に声を出して行う歌唱活動又は歌唱に関わる全ての学習活動の指導順序を変更する。</p>
p.56-57	音のスケッチ 【鑑賞】【音楽づくり】	2 (0.5)	<p>「◎クラッピング ミュージック」を公衆送信などの音源を利用し、何人でどのように演奏している音楽なのか想像して聴く。</p> <p>〈ずれの音楽を楽しもう〉では、提示されたリズムフレーズを拍にのって打つ。</p> <p>音源を聴き、ずれの音楽の面白さに気付く。</p>	
p.58-59	変そう曲を 楽しもう 【鑑賞】	3 (1)	<p>歌曲「ます」を公衆送信などの音源を利用して聴き、旋律を捉える。</p> <p>「◎ピアノ五重奏曲『ます』第4楽章」を公衆送信などの音源を利用し、旋律の変化や楽器の移り変わりに気を付けて聴き、気付いたことを書き留める。</p>	鑑賞領域の〈変そう曲を楽しもう〉を先行して扱うことも考えられる。

			シューベルトについて調べる。	
p.60-61	日本の楽器をたずねて 【器楽】【鑑賞】	随時 (0.5)	くしの笛のみりょく>では、「◎長唄『越後獅子』から」や「◎京の夜」など、長唄や篠笛のための曲を、公衆送信などの音源を利用して聴き、篠笛の音色や表現の特徴について気付いたことを書き留める。	
p.62-71	音楽ランド 【歌唱】【器楽】	随時(選択)		実際に声を出して行う歌唱活動又は歌唱に関わる全ての学習活動の指導順序を変更する。 リコーダーなど吹奏楽器の演奏を伴う副旋律や合奏は指導順序を変更する。
p.78-裏表 紙裏	にっぽんのうた みんなのうた (きせつのうた) 【歌唱】	随時(選択)		実際に声を出して行う歌唱活動又は歌唱に関わる全ての学習活動の指導順序を変更する。